

各 位

会社名 株式会社タチエス  
 代表者名 代表取締役社長 山本 雄一郎  
 (コード番号 7239 東証プライム)  
 問合せ先 経営企画室(TEL 0428-33-1138)

## 人事異動及び組織の一部変更についてのお知らせ

当社は、2023年6月1日付の人事異動及び組織の一部変更につき、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## 1. 人事異動

## 1-1. 取締役兼執行役員の変動

新 職	旧 職	継続職・担当	氏 名
▽Chief Strategy Officer	(品質統括部門長)	代表取締役社長、最高経営責任者、最高執行責任者、経営企画室担当、経営監査室担当、ESG推進室担当	山本雄一郎
▽Chief Corporate Officer	(経営統括部門長)	代表取締役、CFO、執行役員、財務部担当、コンプライアンス担当、内部統制統括責任者	小松 篤司
▽Chief Manufacturing Officer	(モノづくり部門長、DX推進担当)	取締役、執行役員	伊藤 孝男
▽中南米事業本社長、 タチエスエンジニアリングラテンアメリカ社長、 タチエスメキシコ社長	(ビジネス部門長、欧州地域事業統括担当)	取締役、執行役員	幸松 栄夫

## 1-2. 執行役員の変動

【SVP】SVPは統括長

【VP】VPは上級部長、PDはプログラムダイレクター

新 職	旧 職	継続職・担当	氏 名
▽Chief Technology Officer、 品質保証部担当	(モノづくり部門 生産・技術開発グループ長、 品質統括部門担当)	執行役員	村上 聡謙
▽Chief Business Officer	(ビジネス部門 第一事業グループ(三菱)、 新規ビジネス事業部担当、 製品開発グループ担当)	執行役員、ASEAN地域事業統括担当	大河内 勉
▽中国事業本社長、 泰極愛思(中国)投資有限公司総経理	(モノづくり部門 調達グループ長)	執行役員	田村 一美
▽日産ビジネスユニット事業部担当、 欧州地域事業統括担当	(ビジネス部門 第一事業グループ長)	執行役員、北米・中南米事業統括担当	ゴンサロ ・エスパルサ
▽ホンダビジネスユニット事業部、 トヨタ・日野ビジネスユニット事業部担当	(ビジネス部門 第二事業グループ長・ 第三事業グループ長)	執行役員	井川 秀秋
▽ESG推進室、プログラムマネジメント部担当、 TTC-A担当		執行役員 製品開発グループ長、ESG推進室長	久保 芳明
▽グローバル事業管理グループ長 情報システム部長、法務部長	(経営統括部門 グローバル管理グループ長)	執行役員、TF-METAL担当、 株式会社TF-METAL取締役	原嶋 朝秋
▽執行役員 北米事業本社長、 タチエスエンジニアリングU.S.A.社長、 兼 TECHNO TRIM社長	(経営企画室長)		比留間雅人
▽執行役員 調達グループ長		NuiTec Corporation 社長	森本 裕之
▽執行役員 生産技術グループ長	(生産技術部担当VP 兼 生産技術部長)		長谷川直樹
▽執行役員 要素技術開発部担当、原価企画部担当、 製品開発部担当、 兼 製品開発部製品設計担当部長	(製品開発部長)		関田 功
▽顧問	(中国事業本社長、 泰極愛思(中国)投資有限公司総経理)		小野 純生
▽顧問	(中南米事業本社長、 タチエスエンジニアリングラテンアメリカ社長、 タチエスメキシコ社長)		宍戸 和也
▽顧問	(北米事業本社長、 タチエスエンジニアリングU.S.A.社長)		斉藤 正夫

## 2. 組織変更

2021年度から始動した中期経営計画Transformative Value Evolution (TVE)が折り返しの時期に来ているが、当初想定より事業環境が大きく変わってきており、諸活動を加速させTVEを実現するために2023年度組織変更・人事異動を以下のように実施する。

### 1) 執行役員体制

役員ポジションのフラット化(EMO制)を継続し、迅速な経営の意志決定と実行を促進し、コミュニケーションと経営の更なるスピードアップを図る。  
また、本社の各機能が各地域事業に対し機能軸で横串を刺す「グループ本社」としての役割を強化しグループ一体経営の効率性を高めるためにCxO制を導入し執行役員を配置する。(Strategy、Business、Technology、Manufacturing、Corporate)

### 2) CxO体制

CxO体制の元、グローバルで収益を上げる意識を浸透させるために機能別組織と得意先別(ビジネス事業別)のマトリックス組織を継続する。  
また、各CxO機能が各地域事業に対し機能横串を刺し事業の競争力を高めていくため、各CxO下にCxO Officeを設置しグループ戦略の実行と既存ビジネスの運営を確実なものとする。加えて、現場レベルにおける意思決定と実行の迅速化を図るため、管理職の階層のフラット化も行い(SVP、VPポジションの廃止)、経営の更なるスピードアップを図る。

### 3) 地域事業本社制

役割と権限を明確にし、よりスピーディーな運営体制を推進する目的から、地域事業本社体制を継続する(日本、北米、中南米、中国)。  
なお、日本事業においては得意先ごとの変動に適切に対応していくことを目的に、全体管理から得意先圏別管理に変更する。  
また、欧州とアセアン(インド含む)に関しては現状の規模を鑑み、地域事業本社としての位置付けではないが、フランスとタイから管轄することとし、各地域の統括担当として本社の役員を任命する。

### 4) タチエスグループ経営の更なる促進

タチエスグループ全体の経営効率を高める目的で、関係会社の役員・職制を兼任担当としてタチエスの主要な部門へ継続配置する。  
また、タチエス本体の役員・職制も一部関係会社の組織との兼任を継続する。なお、関係会社各社は各地域事業本社の管轄とする。

### 5) グループ名変更

< Manufacturing領域 >

- ① 生産・技術開発グループを生産技術グループに改称する。

< Corporate領域 >

- ① グローバル管理グループをグローバル事業管理グループに改称する。

### 6) 部の新設・移管

< Strategy領域 >

- ① 品質保証部をStrategy領域直下に配置する。

< Business領域 >

- ① 新規ビジネス事業部をビジネス戦略総括部に改称する。

< Technology領域 >

- ① 原価企画部をTechnology領域直下に配置する。

- ② 要素技術開発部をTechnology領域直下に配置する。

(調達グループ)

- ① 調達コスト推進部を新設する。

(機能の役割) 付加価値の改善に向け現在の活動と共に、より強力でサプライヤーと協業し、技術的な提案、発掘、採用を早期に実現させる原低原資創出活動を機能的に進める。

- ② 物流部を新設する。

(機能の役割) 物流領域に於けるマネジメント全般の責任を負い、物流費の最適化と物流マネジメントの定着を図る。

< Manufacturing領域 >

- ① 生産・技術総括部を生産総括部に改称する。

- ② 生産総括部をManufacturing領域直下に配置する。

(生産技術グループ)

- ① 設備管理部を配置する。

< 地域事業 >

(日本)

- ① 日産圏事業部を新設する。

- ② 三菱圏事業部を新設する。

- ③ ホンダ圏事業部を新設する。

- ④ トヨタ・日野圏事業部を新設する。

(①～④の機能の役割) 各圏事業の予実算及び目標粗付加価値とのギャップに対する実績と対策をPDCAで回し、目標営業利益達成まで活動全体を導く。

- ⑤ 日本事業本社関東地区、中京地区の機能を地域事業の各5工場に移管する。

・第一生産管理部、第一品質管理部、第一製造部の機能を関東地区3工場(武蔵工場、青梅工場、栃木工場)に機能移管する。

・第二生産管理部、第二品質管理部、第二製造部の機能を中京地区2工場(愛知工場、鈴鹿工場)に機能移管する。